



時事評論家 増田俊男

米大統領選までに NY ダウ 3 万ドル、ニッケイ 2 万 5 千円！

これは「こー一番！」(有料市場情報誌)や「増田俊男の目からウロコのインターネット・セミナー(有料経済セミナー)で言い続けて来たことである。

言い始めてから 2 か月間 NY ダウは一時 27,000 ドルを割るところまで下がり、ニッケイも 23,000 円を割ったが戻しは始めている。

しかし私の予想 NY ダウ 3 万ドル、ニッケイ 2 万 5 千円にはほど遠い状況である。

投票は終わったがトランプかバイデンか決まるまでには時間がかかるから、「選挙結果が出るまで私の予測はお預けである」。

実は一部の投資家の皆様から、「先生の予測は完全に外れたのだから、素直に謝った方が良いと思いますが、」とご親切な連絡をいただいた。

もちろん私は「選挙結果が出るまでまだ分かりませんよ」とお返事させて頂いた。

古い話だが、今は亡き船井幸雄先生にお招きを頂き 1998 年 1 月 8 日(?)先生の講演会に飛び入りで 20 分間ほどお話をさせていただいたことがあった。

この時日本に帰ってきたばかりで無名な私には「野心」があり、実は私が注目される為の手を打ったのである。

キリストが足の不自由な者(イザリという言葉は使ってはいけないことになっている)に「汝立て、そして走れ」というと不自由者が立って走った、そして彼と家族が涙を流してキリストに感謝した。

これを見ていた群衆は、キリストは全能の神だと信じ、どこまでもキリストに従うことになったのである。

船井先生の講演会には 400 名を超す経営者の方々が全国から来ていたので、私はキリストと似たようなことをしようと思ったわけである。

1998 年早々から円安が進み、130 円から 140 円に向かっていった。

270 円になるなどという評論家もいた時期である。

私は安い金利で円を借りて高い金利のドルを買ったヘッジファンドが 10 月になると一斉に円を買って借りた円を返済してくること(キャリートレードという)を知っていたので、「10 月上旬に 110 円の円高になる、もしならなかったら皆様の前で切腹してもいいですよ」と言う会場がどよめいた。(私は内心しめしめと思った)

10 月 1 日になったが、一向に円安にならず 1 ドル 130 円から 133 円のままで円高の兆しは全く無かった。

「先生、切腹はしなくてもいいけれど、一応「時事直言」でもいいから謝罪した方がいいと思いますが、」と多くの方々が私のことを心配して連絡して下さった。

もちろん私は、「まだ 10 月 10 日になっていませんので、それまで分かりませんよ」とお応えした。

それから私の予想通り、ヘッジファンドの円買いが一気に進み連日大幅な円高が続き 10 月 10 日にはついに 111 円を付け、数日後 110 円になった。

一昨日 11 月 2 日(米大統領選投票日前)無料インターネット・セミナーで「現在の日米株価は私の予想 NY ダウ 3 万ドル、ニッケイ 2 万 5 千円にはほど遠いのですが、トランプかバイデンか白黒はつきり決まるまでまだ分かりませんよ」と言ったところである。

今日はインターネット・セミナーで「NY ダウ 3 万ドル、ニッケイ 2 万 5 千円確実！」と放送するつもりである。

今日あたりから NY 株価は私に味方すると思いますが、、、どうでしょうか？

私も早くキリスト様の様になりたいものです。